

令和7年度 第4回国見町総合計画審議会議事録

日 時 令和8年2月5日（木） 10:00～11:00

出席者 審議会委員17名（欠席者5名）

【内 容】

1. 開 会（司会：企画調整課長）

全委員22名中17名の出席を報告。

2. 審 議（進行：岩崎会長）

①第6次国見町総合計画中間見直し（案）について

事務局

- ・資料1と資料2を用い、昨年12月末～今年1月末にかけて実施したパブリックコメントの内容について説明を行った。
- ・主に、パブリックコメントの結果を受けて追記・修正を行った部分を確認。市民の皆さまからいただいた提案は極力総合計画へ反映した。反映が難しい場合は、貴重な意見のひとつとして承り、今後の町の取り組みの参考とすることを確認した。

②第6次国見町総合計画令和8年度実施計画（案）について

事務局

- ・資料3について、現時点での内容となるため、今後変更となる場合があることを確認した。
- ・資料4の内容について、今後5年間の後期計画で行う事業を一覧にしたものであることを説明。前回報告時は全体で342事業だったが、現時点で350事業へ変更となった。そのうち321事業を令和8年度から実施予定。政策ごとの新規事業と拡充事業について説明を行った。こちらについても、事業実施はあくまでも現時点での予定であるため、今後変更になる場合があることを確認した。

③国見町過疎地域持続的発展計画（案）について

事務局

- ・資料5、6、7について順に説明を行った。パブリックコメントでいただいた提案は、多くが個別具体的な事業の進め方に対するものであったため、ご提案いただいたものを具体的に計画へ落とし込むためには、今後の精査が必要になることを説明。
福島県へ提出した計画については9件の指摘があった。特に過疎債を利用する事業については、ハードとソフトを明確に分ける必要があるとの指摘を受けた。今後は資料5・6の内容を反映させ、計画（案）を作成する。全体の事業数としては45事業から62事業へ変更となっ

た。そのうち特別事業分は33事業となっている。

④その他

事務局

- ・資料8を用い、これまでの流れについて説明をおこなった。町民アンケートやパブリックコメント、管理本部会議や専門部会の実施などを実施している。
- ・今後の流れとしては「計画の答申」⇒「県との正式協議」⇒「議会説明」⇒「3月議会提出」⇒「議決」の流れを経て、4月上旬には概要版の各戸配布を予定している。

【質問・意見】

委員

- ・実施予定の事業数が減ったとのことだが、削減された事業についてはどのような理由があったのか。削減された事業については今後一切実施しないという対応になるのか。

事務局

⇒資料4についてのご質問だと思うが、全350事業はあくまでも令和8年から令和12年に実施を予定しているものを記載している。財源の確保などの問題により、事業実施ができない場合もあるかと思うが、今後は年1回のローリングにより事業の必要性などの検討を行う予定。今後は審議会の中で提起、説明を丁寧に行っていきたい。

○岩崎会長から村上町長への答申書の手交

3. 町長あいさつ

- ・委員の皆さんには長期間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。答申いただいた計画は人口減少や物価高騰、デジタル化の推進やインフラの老朽化などに対応するための重要な計画となる。これらの計画は、町民が国見町で安心安全に暮らすための羅針盤となるもの。
- ・5つの専門部会で集中審議いただいた内容を、町民の声として計画へ反映している。これらの声を真摯に受け止め、町政に反映していきたい。国見町のさらなる発展のため、今後も皆さまにはご協力をお願いしたい。

4. 閉会